



看護学部

看護医科学（病態治療）領域

講座のアピールポイント

本領域では、領域長（宮本雅之教授）が兼務する大学病院睡眠医療センターにおいて、睡眠と病気についての臨床研究を行っています。国内では本学埼玉医療センター脳神経内科との共同研究を実施しており、地域の医療機関からも研究協力を得ております。また海外の大学との多施設共同研究に積極的に参加しています。

講座研究紹介

本領域では、睡眠関連疾患のなかで、中高年者に好発するレム睡眠行動障害について、認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患の発症に関わるリスク因子の解明と、病態修飾療法の開発を目標とした臨床研究を行っています。カナダ、イタリアなどの海外の研究グループとの多施設共同研究も進行中です。